

高等学校における道徳的実践意欲を高める 情報モラル指導の在り方に関する研究

〈読み物資料と展開例〉

《目次》

I 読み物資料 1

- 1 読み物資料 「夏休みのアルバイト」 (SNS)
- 2 読み物資料 「夏休みのアルバイト」 (SNS) マンガ版
- 3 展 開 例 「夏休みのアルバイト」 (SNS)

II 読み物資料 2

- 1 読み物資料 「言葉の広がり」 (グループチャット)
- 2 読み物資料 「言葉の広がり」 (グループチャット) マンガ版
- 3 展 開 例 「言葉の広がり」 (グループチャット)

I 読み物資料 1

1 読み物資料 「夏休みのアルバイト」 (SNS)

I.

ぼくは高校2年生。中2のときに始めたギターにはまり、部活が終わってから仲間と練習をしている。親はバンドをやっていることをあまりよくは思っていない。だけど、勉強、部活、バンドとできるだけ両立するように努力しているため、あまりうるさくは言われない。今のギターは先輩からもらったもので、もう4年も使っている。色がはげたりネックが曲がってきたりして、かなり年季がはいってきた。秋に開くコンサートのために、新しいギターが欲しい。夏休みにアルバイトしてお金を貯めようと思っていたが、親には猛反対されてもめた。最終的には、夏休み中、週4日4時間、19時までに家に帰ることで何とか親が許してくれた。欲しいギターには手は届かないが、条件をのんだ。

次の週から、コンビニのアルバイトを始めた。はじめは掃除、商品の陳列から教わった。人が少ないときはレジを打つことも教えてもらった。店長さんをはじめ働く人たちはとてもいい人で、何でも優しく教えてくれた。

そんなある日、バイト先の先輩で大学生のゆうきさんに、

「サークルの行事が入ったからシフト変わってくれない？」と、言われた。

帰りの時間がいつもより少し遅くなるから、その日だけ親に許可を取った。ゆうきさんには、

「店長にはオレから言うておくから、サンキュー」と、言われた。

そのシフトを変った日は、あきらさんとペアだった。あきらさんは、ぼくより一つ上の先輩だ。あきらさんとは仲もよく、学校のことや勉強のことをメールで相談したり、遊びに行ったりすることもある。その日の夕方はかなり人が多く、店は賑わっていた。しかし、時間が経つにつれ人もまばらになり、一通り仕事が終わったところで、二人で休憩時間に入った。

休憩時間、事務室は二人きりで、備え付けのドリンクと、消費期限の切れたホットスナックが置いてあった。二人は飲食しながら学校の話で盛り上がった。

しばらくするとあきらさんが、

「そうだ、二人で写真撮ろうよ。」と、言った。

スマホを持ち出し、バイト先の制服姿で2ショット写真を何枚も撮った。さらに悪ふざけをして、ホットスナックをほおぼる仕草でポーズした。

その日のバイトが終わり家に帰った。夕食を食べ、勉強しようと机に向かった瞬間、スマホが鳴った。あきらさんからだと直感でわかった。メールには写真が何枚か添付されていた。本文の最後にはリンクがあった。それはあきらさんのSNSだった。そのリンクをタップすると画面にはホットスナックをほおぼる2ショット写真が写っていた。ぼくは、「あっ」と思った。

.....

II.

その写真は瞬く間に広がり，SNS で批判を浴びた。

「この制服，コンビニの〇〇〇だよな。」

「店の品物勝手に食べていいの？」

「店員がこんなことしていいのか。」

「店員の教育，なってないんじゃないの。」

.....

.....

.....

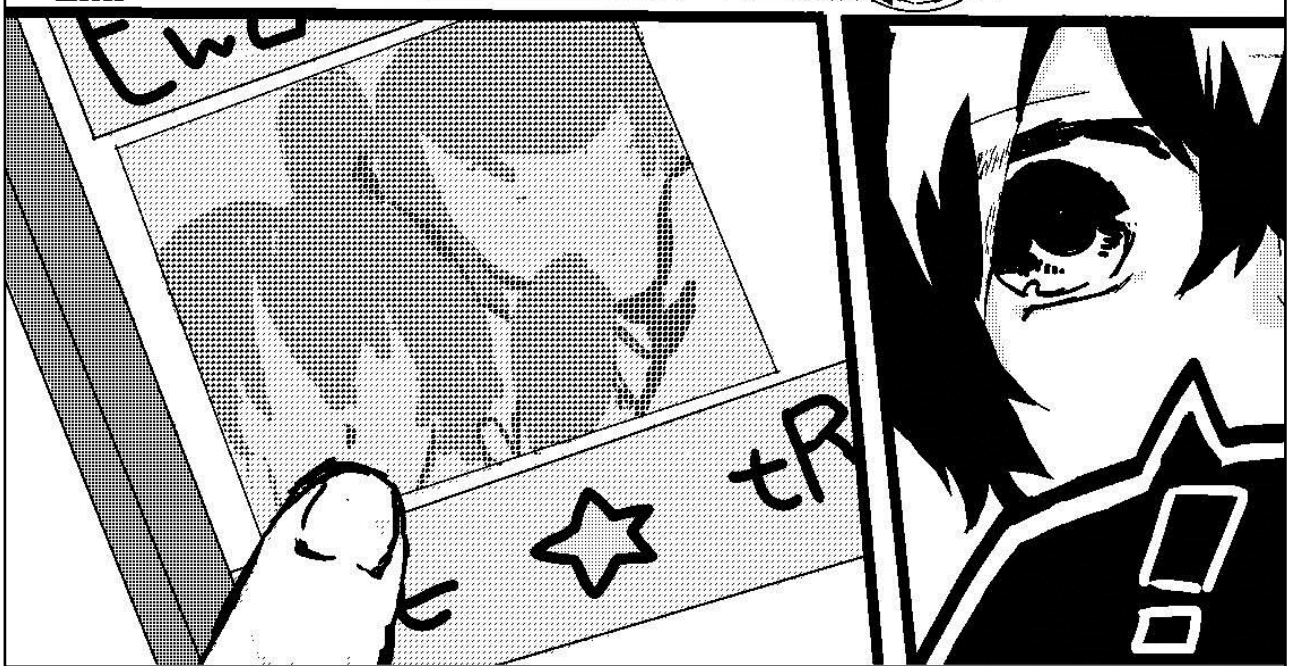
「この店員のいるコンビニ，〇〇〇の△△△店だよ。」

「こんなふざけた店員のいる店，絶対行かない。」

2時間後，あきらさんの SNS から写真は削除されたが別のサイトで調べると同じ画像がアップされていた。

次の日，ぼくとあきらさんは店長に呼ばれた。事情を説明し，厳しく注意を受けた。今回のことでどれだけ店が影響を受けたか，後で店長から親に連絡するといわれた。こうして，ぼくの夏休みのバイトは終わった。






3 展開例 「夏休みのアルバイト」 (SNS)


(1) 指導のねらい

道徳教育の内容項目における「主として他の人とのかかわりに関すること」と「主として集団や社会とのかかわりに関すること」について、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）によるいたずら画像の発信を題材とした読み物資料を用いて指導を行う。授業実践を通して、インターネットで情報発信する際の善悪の判断、自分の行動に対する責任の自覚、相手の気持ちや相手の立場を配慮することを生徒に考えさせ、道徳的判断力と道徳的心情の涵養を図る。

(2) 授業の展開例

時間	学習内容	学習活動と主な発問	指導上の留意点等
導入 5分	1. アップロードされた画面の客観的な印象を考える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>〔生徒への発問〕 アップロードされた画像を見て、客観的にどんな印象を受けるか。</p> </div> <p>○口頭で意見を述べる。</p>	<p>○アップロードされた画像（イラスト）を表示。</p>  <p>【予想される意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しそう ・仲が良さそう など
展開 30分	2. 読み物資料（マンガ版）を読み、物語の背景を理解する。	○読み物資料（マンガ版）を読む。	○読み物資料（マンガ版）を配付する。
	3. 読み物資料の前半部分を読み、物語の詳細を理解する。	○読み物資料（Ⅰ）を読む。	○読み物資料の前半部分（Ⅰ）を配付し、授業者が朗読する。

<p>4. 主人公の立場に立ち、自分の気持ちを表出する。</p>	<p>《掲示板での自由記述 ①》 『ぼくは「あっ」と思った』とあるが、アップロードされた画面を見て主人公はどう思ったか。主人公の気持ちを「モバイル掲示板1」に入力する。</p> <p>○他の生徒が入力したコメントを読み、情報を共有する。</p> 	<p>○「モバイル掲示板1」に無記名で書込むよう指示する。 ○書き込んだ後「更新」ボタンをクリックし、他の生徒の投稿も確認する。 ○主人公の立場に立ち、率直な気持ちを書き込むよう指示する。 ○机間指導を行い、入力できない生徒にはサポートを行う。</p> <p>【予想される意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「載ってるな。」と思った。 ・「いい写真だな。」と思った。 ・「まずいかも。」と思った。 ・「顔がさらされてしまった。」
<p>5. 読み物資料の後半部分(Ⅱ)を読む。</p>	<p>○授業者の朗読する教材の続きを聞く。</p>	<p>○教材の後半部分(Ⅱ)を配付し、授業者が朗読する。</p> <p>【物語の確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニの制服と顔から店が特定された。 ・店の商品を勝手に食べたと誤解された。
<p>6. 物語の結末に至った原因を考える。</p>	<p>《掲示板での自由記述 ②》 アップロードした画像の、何が良くなかったのかを考え、「モバイル掲示板2」に入力する。</p> <p>○他の生徒が入力したコメントを読み、情報を共有する。</p>	<p>【予想される意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店の食べ物を食べていたのが良くなかった。 ・写真では食べていけないものか分からない。 ・そもそも他人に見られたのが良くなかった。

	<p>7. 6の生徒の記述を受けて、登場人物が情報発信する際の判断や、他人への配慮はどうであったかを考える。</p>	<p>〔生徒への発問〕</p> <p>①あきは画像をアップすることで、やがてどうなるか予想できなかったのか？</p> <p>②あきは「ぼく」の気持ちを考えていなかったのか？</p> <p>③あきは、SNSが誰にでも見られることを知っていたのか？</p> <p>④あきはSNSについての「知識」はあったが、自分のSNSが他人に見られることは想像できていたのか。</p> <p>○口頭で意見を述べる。</p>	<p>※生徒への発問を通して、重要な語句を板書し、「道徳的判断力」および「道徳的心情」に関わる内容を確認する。</p> <p>【予想される意見】</p> <p>①やがてどうなるか予想できなかった。 →「予想」と板書する。</p> <p>②「ぼく」の気持ちまでは考えていなかった。 →「相手の気持ち」と板書する。</p> <p>③SNSが誰にでも見られることを知っていた。 →「知識」と板書する。</p> <p>④自分のSNSが見られることまでは想像していなかった。 →「判断」と板書する。</p>
<p>終 末 15 分</p>	<p>8. 7の学習活動を受けて、メールやSNS、動画サイトでの情報発信の際に注意すべき点を考える。</p>	<p>《掲示板での自由記述 ③》</p> <p>自分がSNSなどインターネットで情報発信する場合、どのようなことを考えて行動したいかを考え、「モバイル掲示板3」に入力する。</p> <p>○他の生徒が入力したコメントを読み、情報を共有する。</p>	<p>○今後、インターネットで情報発信する上で注意すべきこと、心がけたいことを書き込むよう指示する。</p> 
	<p>9. まとめ</p>	<p>○社会を形成する一員として、責任があることを認識する。</p> <p>○コンピュータの向こうに相手がいることを考えて情報発信することの大切さを認識する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えての情報発信 ・相手の立場がどうなるかを考えての情報発信 	

II 読み物資料 2

1 読み物資料 「言葉の広がり」 (グループチャット)

I.

「ユウコおはよう！」

「おはようアヤカ・・・。」

ここ最近、ユウコの態度がそっけない。このあいだ、何か困ったことでもあるのか聞いたけれども、ユウコは、

「なんにもないよ・・・。」と、そっけない返事をしただけだった。

私とユウコは中学校からの友だちだ。高校に入ってから、部活が別々になったこともあって、中学校の時に比べて一緒に遊ぶことが少なくなったけれど、2年生になった今年、同じクラスになった。

(いったいどうしたんだろう・・・。)

私はユウコの様子を見て何だかもやもやした気持ちになった。

その日も家に帰ってから夕食後、いつもの仲間たちのグループチャットに書き込んだ。高校に入ってからいつも一緒に遊んでいる同じ部活動の仲間たちだ。

私は、今日の出来事を思い出して書き込んだ。

「ユウコって最近ちょっと冷たいんだよね。」

3分ほどするとミナミから、

「私もそんな感じがする。」と、返事があった。

しばらくすると、

「そうそう、話しかけても上の空だし。」

「だまっているとすごく暗いよね。」

「私、無理、無理、無理・・・。」と、他の友だちからも書き込みが続いた。

みんなの書き込みがどんどん悪い方向に向かっていくのを見て、私は「はっ」とした。そして、複雑な気持ちになった。

そんなある日、ユウコが学校を休んだ。最初は風邪でもひいたのかと思ったけれど、それから2日、3日とユウコは休み続けた。

ある日の放課後、教室の清掃が終わって部活に行く準備をしているところで、担任の先生に声をかけられた。

「アヤカさん、ちょっと相談室まで来てもらえるかな。」

「はい・・・？」

相談室に入り、私は用意された折りたたみ椅子に座った。

「実はね・・・。」

いつもは明るく愉快的な先生が真面目な顔で話し始めた。

「他のクラスの生徒のグループチャットに、『2組のアヤカがユウコの態度にムカついている』と書いてあったらしいんだ。そのことがユウコさんに伝わってね、信頼していた君に自分の悪口を書かれたことで、すごくショックを受けたようなんだ・・・。」

すぐに私は、このあいだ部活の仲間たちのグループチャットに書き込んだことが原因だと気が付いた。

(だけど私は「ユウコにムカついている」なんて書いてなかった。ユウコの悪口を書き込んでいたのは他の人のはずだけど・・・。) 私は頭の中が、真っ白になっていった。

II.

さらに先生は話を続けた。

「それからね、ユウコさんは最近、お父さんの具合が悪くてずっと悩んでいたようなんだ。そこで今回の件が重なって学校に来られなくなったらしいんだ……。」

(そうなんだ……。ユウコがみんなに対してそっけなかったのは、お父さんのことで悩んでいたからなんだ……。)

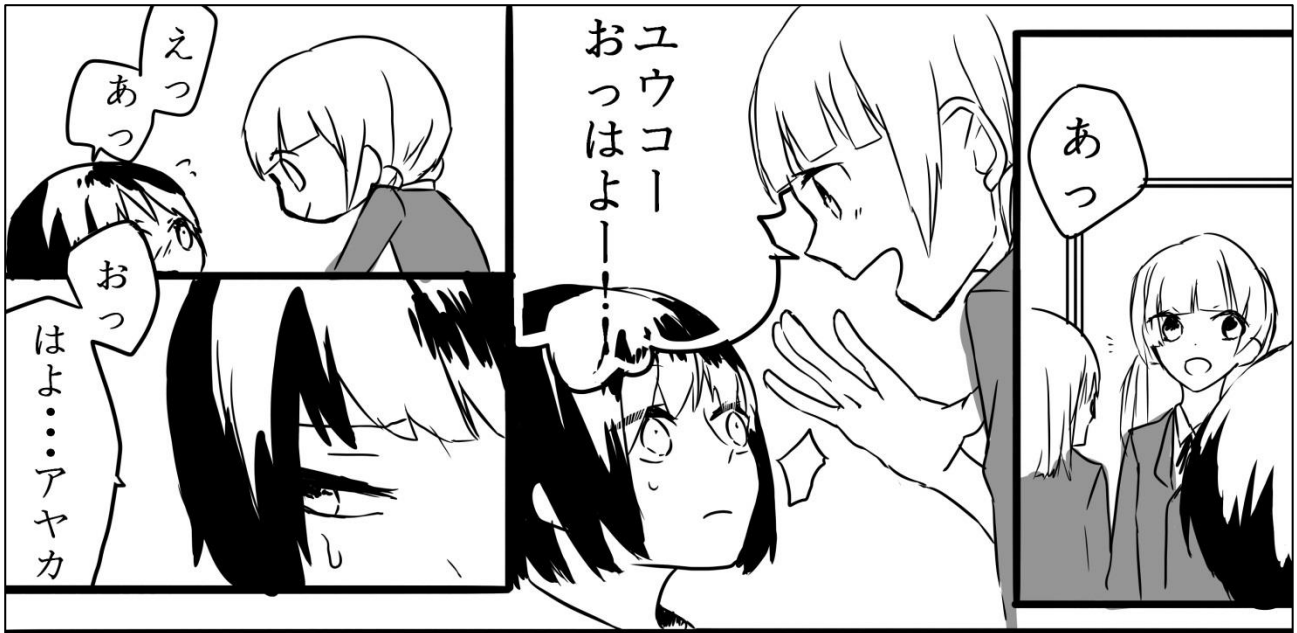
それから私はぼつりぼつりと、自分がグループチャットに書き込んだ内容や、誰かがそれを誇張して他のグループチャットに書き込んで、このようになったことを先生に話した。決して悪気があったわけではなく、逆にみんなの書き込みを見て心が痛んだことも話した。

先生は、真剣な眼差しで自分の手元を見ながら、じっと私の話に耳を傾けていた。

私の話を最後まで聞いてから、先生は静かに話し始めた。

「そうか……。君はユウコさんがムカつくなんて書き込んでなかったんだね。ただ、昔から口は災いの元っていうけれど、人に何かを話すときは話して良いことかどうか、しっかり考えて話さないといけないね。特に、インターネットの世界は相手の姿が見えないから、自分から出た言葉が、姿を変えて独り歩きしやすいのかもしれないね……。」

先生の話聞き、私は目にいっぱい涙を浮かべながらうなずいた。





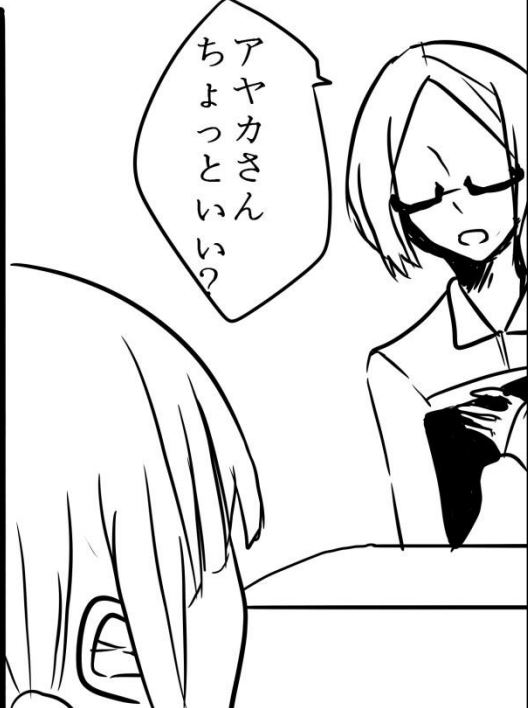
既読
最近ユウの態度が
ちょっと冷たい気がする
21:45

私もそんな感じする
21:48

話しかけても上の空だよ
21:49

!!
黙ってると暗いし 笑
21:51

><
私、無理無理無理...><
21:52



3 展開例 「言葉の広がり」 (グループチャット)

(1) 指導のねらい

道徳教育の内容項目における「主として他の人とかかわりに関すること」について、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)におけるグループチャットでのトラブルを題材とした教材を用いて指導を行う。授業実践をとおして、グループチャットでの自分の書き込みがその後、どのような結果につながっていくか予想・判断することの大切さについて考えさせ、道徳的な判断力の涵養をはかる。

(2) 授業の展開例

時間	学習内容	学習活動	指導上の留意点等
導入 5分	1. メール等を用いた言葉の伝わり方、印象について考える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔生徒への発問〕 何気ない一言から友だちとトラブルになったことはあるか。特にインターネットのメール等でトラブルになったことはあるか。</p> </div> <p>○口頭で意見を交流する。</p>	<p>○直接話す場合とメール等で伝える場合で発言の印象が変わることを説明する。</p> <p>例) 「○○バカだな。」と友だちに直接笑顔で話すのと、メールで同じ言葉をそのまま伝えるのでは、相手の受け取り方が大きく変わってしまう。</p>
展開 30分	2. 読み物資料(マンガ版)を読み、物語の背景を理解する。	○読み物資料(マンガ版)を読む。	○読み物資料(マンガ版)を配付する。
	3. 読み物資料の前半部分を読み	○読み物資料(I)を読む。	○読み物資料(I)を配布し、授業者が朗読する。 【物語の確認】 ・もとの主人公の書き込みに悪意はなかったのに、悪意のある内容に歪曲されて拡散した。
	4. 主人公の立場に立ち、自己の気持ちを伝える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔生徒への発問〕 『私は「はっ」とした』とあるが、なぜ主人公は「はっ」と思ったのか。</p> </div> <p>○口頭で意見を交流する。</p>	○主人公の立場に立って考えるよう指示する。 【予想される意見】 ・ただ、グチをいっただけなのに。 ・みんな悪口を書き始めてる。
	5. 主人公の立場に立ち、自己の気持ちを伝える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔生徒への発問〕 『私は頭の中が、真っ白になっていった』とあるが、その時、主人公はどう思ったか。</p> </div> <p>○口頭で意見を交流する。</p>	【予想される意見】 ・どうしよう。 ・いったい誰がそんな書き込みしたんだろう。 ・ユウコを傷つけてしまった。

	6. 読み物資料の後半部分(Ⅱ)を読む。	○授業者の朗読する教材の続きを聞く。	○教材の後半部分(Ⅱ)を配付し、授業者が朗読する。
	7. トラブルに至った原因について考えを深める。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>[生徒への発問] このようなトラブルにつながった原因は、何だろうか。</p> </div> <p>○口頭で意見を交流する。</p>	<p>【予想される意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰かが、他のグループに悪い意味で書き込んだのが悪い。 ・そもそも主人公がグチを書き込んだのが悪かった。 <p>○主人公の「ちょっと冷たいんだよね」という書き込みは、会話の中では、ただのグチに聞こえるかもしれないが、今回のように、グループチャットでは悪口を書き込んだように受け取られる場合もあることに触れる。</p>
	8. 「道徳的判断力」に関わる部分について整理する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>[生徒への発問]</p> <p>①主人公がグループチャットに書き込む際に、自分の書き込みがきっかけで仲間がユウコの悪口を書き込み始めることは、予想できていたか。</p> <p>②主人公は、自分がグループチャットでこぼしたグチが悪口の形になって他のグループチャットに広まるのが予想できていたか。</p> </div> <p>○口頭で意見を交流する。</p>	<p>※生徒への質問を通して、重要な語句を板書し、「道徳的判断力」に関わる内容を確認する。</p> <p>【予想される意見】</p> <p>①みんながユウコの悪口を書き込み始めることは予想できなかった。</p> <p>②他のグループチャットに広まることは予想できなかった。 →「予想」, 「判断」と板書</p>
終末15分	9. まとめ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>[生徒への発問] 自分がグループチャットで発言する場合、どのようなことを心がけて行動したいか。</p> </div> <p>○口頭で意見を交流する。</p>	<p>○情報発信する際の予想と判断の大切さを確認する。</p> <p>○責任ある発言の大切さを確認する。</p>